

助産雑誌 Back Number

★バックナンバーのお取り扱いについて

- ① 2019年9月号以降の雑誌は、医学書院受注センター(TEL: 03-3817-5666)にて承ります。
- ② それ以前の号についてのご注文や在庫のご照会などは、下記をお願いいたします。
株式会社東亜ブック 〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町 5-27-11
TEL: 03-5947-4781 FAX: 03-3923-4539



2021年9月号

特集

全妊婦への情報提供が始まる今
NIPTについて助産師が知っておきたいこと
全ての妊婦に対してNIPTの情報提供が始まり、検査を取り扱う医療機関も増えることが予想されます。助産師はどう関わっていけばよいでしょうか？本特集では、今、女性が求めていること、助産師がそれに応えるために知っておきたいことについて解説します。



2021年8月号

特集

妊婦も助産師も、
冷え対策しませんか
心身がちょうど良い状態、「中庸」を目指す食事・運動などの養生と鍼灸、冷えの漢方治療を、漢方の基本の考え方を踏まえて解説しました。さらに養生を大切にしている助産院から、助産外来でも実践できる保健指導の要点を紹介しました。



2021年7月号

特集

後期早産児を産んだ
お母さんへの適切な支援とは
後期早産児は合併症のリスクが正常産の児と比べ高く、お母さんには心理面を含んださまざまな支援が必要です。本特集では後期早産児の特徴・注意点と共に、後期早産児を産んだお母さんに必要な支援などを取り上げます。



2021年6月号

特集

ガイドラインの改訂内容を解説！
ポジティブな出産体験のための推奨項目56
正常出産において、母子の安全のために本当に必要なケアをさまざまなエビデンスを基にまとめたWHOの最新版ガイドライン「WHO推奨 ポジティブな出産体験のための分娩期ケア」。旧ガイドラインから改訂されたポイントを現場の視点で解説しました。



2021年5月号

特集

切迫早産のより良いケアを
模索する
切迫早産に関する研究成果や、切迫早産を経験されたご家族へのメンタルサポートの実践、海外での切迫早産に関するアンケート結果などを紹介します。本稿を通じて、切迫早産のより良いケアについて、改めて考えることができたいと思います。



2021年4月号

特集

産後うつを防ぎたい！
新型コロナウイルス感染症予防のため、かつては当たり前であった妊婦と助産師の交流や妊婦同士の出会いが困難になっています。孤立からメンタルヘルスの悪化、そして産後うつにつながるのを防ぐために、今だからこそ実施したい具体策をご紹介します。

2021年 特集

- 3月号 コロナ禍で必要な若年女性への支援とは？
- 2月号 妊婦・母親との会話で役立つ質問と受け答えのコツ
- 1月号 産後の母子を支える想いを聴く

2020年 特集

- 12月号 臨床現場での“触れる”の今後を考える
- 11月号 母子に向けた流行感染症対策 新型コロナウイルス感染症を中心に
- 10月号 What's new? 最新情報をお届けします！『乳腺炎ケアガイドライン 2020』ダイジェスト
- 9月号 助産師が学び、実践したい骨盤ケア